

# 令和2年度 南宮中学校 の基本計画

## 1. これまでの経過

本校には、これまで

- ・豊かな思考力・創造力を育てよう。
- ・思いやりと感動のできる心を育てよう。
- ・耐えてやりぬく実践力を育てよう。
- ・健康でたくましい身体を育てよう。

という学校教育目標が定められ、更にこれを具体化するという視点で平成13年度より、「目指す生徒像」から「目指す学校像」、そして「各学年の重点」等と多岐にわたる目標が据えられてきた。

また、本校は長年反社会的行動をとる生徒、そしてその周囲を取り巻く集団の形成により、本来の教育が実現されない現実があった。この間、先生方の努力により各学年・学級の様子は向上している。

## 2. 目指す生徒像と学校教育目標について

[目指す生徒像]

- ・自信と思いやりを持ち、より豊かな集団の一員になろうとする生徒
- ・適切な判断ができ、行動する生徒
- ・目標をもち、粘り強く、創意工夫して解決にあたる生徒

[学校教育目標]

学び合い、磨き合い、支え合い、共に高め合う生徒の育成

## 3. 本年度の重点

○安心して学び合える学習集団づくり      ○確かな学力や体力の向上      ○キャリア教育の充実

## 4. 具現化に向けて

(1)主体的・対話的で深い学びの実践

新学習指導要領完全実施に向けて

- ・自ら立てた問いに対し、他者と協働しながら最適解を見つけ、新しい価値を主体的に創造していくことができる資質・能力の育成をめざす。
- ・「学び合い」は全教室で実践していることを前提とし、よりよい学び合いの姿について探り合う。

(2)信州型 UD の推進

R2,3年度は推進校として実践を深める。

- ・障がい者差別解消法（H28）の施行、LD 等通級指導教室開設等に伴って、日常の教育活動の中に、また私たちの意識のなかに特別支援教育の視点を大切に位置づけていく。
- ・不登校傾向の生徒、発達障がいのある生徒等、学びづらさ、過ごしづらさ、生きづらさを抱えた生徒が増加。子どもの視点に立ち多様性を包み込む学校づくり・授業づくり・学級づくりはどうあったらよいか、UDリーダー、UDチームを中心に全職員で手探りしながら推進する。

(3)キャリア教育の充実

キャリアパスポートの導入

- ・他者や社会との関わりのなかで様々な役割を担いながら生きている。日常の生活やキャリア教育を通してふるさとのよさや自己肯定感、学ぶことへの意欲や将来の生き方へとつなげていけるようにする。

(4)子どもと向き合う時間の確保

働き方改革の推進

- ・テクノロジー（ICT）とSSS等の人材活用、仕事の割り振りを可能なところで進め担任に優しい学校づくりをめざす。
- ・県、市の指針に沿った適切な部活動運営を進める。

職員の資質能力向上として、教科会（南宮中の強みでもある）、教科主任会、また、適宜、職員研修の場を設けてスキルアップを図り「生徒も先生方も学び合う南宮中学校を目指して！」の合い言葉の元、学校教育目標を具現していく。